

RiskFinder 17 提供開始 (Android OS 17 対応版)
～ 10 月 9 日リリース ～

タオソフトウェア株式会社(東京都中央区、代表取締役：谷口 岳、以下 タオソフトウェア)は、2026 年 10 月 9 日、Android アプリの脆弱性診断ウェブサービス「RiskFinder (リスクファインダー)」の新版となる「RiskFinder 17 (Android OS 17 対応版)」をリリースしました。

今回リリースした「RiskFinder 17 (Android OS 17 対応版)」は、Android の最新 OS である、Android 17 に対応したものとなります。

【「RiskFinder」について】

「RiskFinder」は、Android アプリの脆弱性(セキュリティホール)を診断する Web サービスです。ブラウザを経由してアプリケーションファイル(.apk、.abb ファイル)を「RiskFinder」サーバへアップロードするだけで、すぐに診断結果を得ることができます。「RiskFinder」は 2013 年 4 月のサービス開始以来、通信会社やアプリ開発会社、アプリ検証サービス会社、金融会社など、多方面で利用されています。

【Android OS 17 のセキュリティ情報】

Android OS 17 ではセキュリティに関しての大きな変更はありませんでした。引き続き細やかな変更が加えられています。特に注意する必要がある事項が以下となります。

ACCESS_LOCAL_NETWORK

悪意のあるアプリが制限のないローカルネットワークアクセスを悪用し、ユーザーの追跡やフィンガープリンティングを密かに行うことを防ぐため ACCESS_LOCAL_NETWORK パーミッションが導入されました。

これに伴い、INTERNET パーミッションの宣言のみではローカルエリアネットワーク (LAN) へのアクセスができなくなりました。

ACCESS_FINE_LOCATION

新しい位置情報プライバシー機能が導入され、一度限りの正確な位置情報アクセスには新しい UI の位置情報ボタンを使用する仕様変更になりました。

READ_CONTACTS

2026 年 10 月 28 日 : Android 17 以降 (API レベル 37 以上) を対象とする READ_CONTACTS パーミッションの利用宣言をしているアプリは、電話帳データの取得がコア機能である必要があります。

「RiskFinder 17」は、Android OS 17 に対応した、Android アプリの脆弱性診断サービスです。セキュリティの問題箇所を指摘し、改善案を提供致します。

【リスクファインダーについて】

社名 : タオソフトウェア株式会社

代表 : 代表取締役 谷口 岳

所在地 : 東京都中央区新川 2-3-1 セントラルスクエア 8 F

URL : <https://www.taosoftware.co.jp/services/riskfinder>